

シーケンシャル

S15

シルビア



関西のサーキット本気組ショップ、シーケンシャルが本腰を入れて製作中なのがブラックイリュージョンSF-X15だ。コレは岡山国際サーキットを1分33秒台、セントラルを1分19秒台達成を目指している。しかし今回は残念ながらエアロの発表のみ。完成が待ち遠しい

TC-KOBE

FD3S

RX-7



テクニカルカレッジ神戸の学生が製作したFDは、ガルスタイルとなっているのが注目すべきところ。オリジナルのペイントでスปコン風味ではあるものの、エンジンはブーストアップで350psを発生していて、シッカリ走るってのもアピールしておきたいポイントだろう

D-DRUG

S13

シルビア



D-DRUGのシルビアはボンネットに注目したい。ファイバーとゲルコートの間にプリントした生地を挟み込むといった特殊な手法で製作されているのが特徴。コレはちょっとブレイクしちゃいそうな予感大って感じだ! ちなみに車名はエロビア(?)となっているゾ!

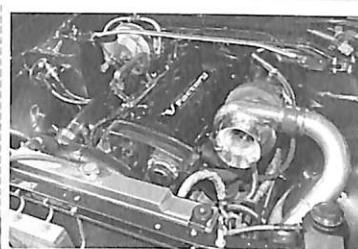
D-DRUGのフースでもうひとつ注目したいアイテムといえるのがオリジナルの別タンク式スーパー車高調。別タンにすることでストロークをたっぷり取ったダンパーと同様の効果が期待でき、減衰もきめ細かな乗り心地になるという。セッティングにも有利な構造なんだよ

Vファクトリー

C35

ローレル

RB25エンジンが搭載されるFRマシンとして注目されつつあるのがC35。どうせならRB26積んじゃおうってことでVファクトリーが製作したマシンなのだ! ノーマルでもパワフルなエンジンなのだが、コイツはさらにトラストでも最大級のT88タービンを組み合わせているのもミソ



プライベートガレージ・トリック

S14

シルビア



青龍というネーミングも勇ましいS14シルビアは、プライベートガレージ・トリックのドリフト車。エンジンはS13のSRを搭載し、K3-450タービンで480psを発生するという。迫力の前後ワンオフブリスターボディに、ガルスタイルと最近の定番的な仕上がりをみせる



プライベートガレージ・トリック

S13

シルビア



S13ボディにマークXのヘッドライト、S15テールなどをスワップして一正体不明(?)の怪しさを演出するトリック。玄武と名付けられたこのシルビアは、なに気にGT3037Sタービンを装着するドリフト仕様なんだ! コレなら見た目のパフォーマンスも満点に違いない



大阪オートメッセ 2005

YVブースにきてくれたみんな、サンキュー！ ここからは大阪オートメッセの会場で見つけたYV的な「なにわ的」チューニングカーを一気にチェックしていく。カリカリのサーキットタイムアタック仕様から魅せるドリフトマシンまで、とにかくいろんなマシンが大集合！ ライブな大阪を感じられる、なにわ的チューンドマシンをとくどご覧あれ!!

Photo : 川澄智史

サウンドキッズif
GDB インプレッサ



関西のオーディオスペシャルショップのサウンドキッズifが製作したインプレッサ。見た目はファル肯・カラーでバリバリのサーキット仕様といった印象だが、ケンウッドのオーディオシステムもフルに搭載するサウンドマシンでもあるゾ！ その名のとおり「もしも」を実現している

スーパー・オートバックス姫路

S14 シルビア



ドリフト仕様を、走りの性能だけではなく、インテリアまで含めたトータルなカスタマイズで表現したSA姫路のDRIFTING 240SX。海外のバーツも多用することでありがちなドリフト仕様からの脱却を目指しているのもポイント。楽しくカッコいいを提案するマシンだ



スーパー・オートバックス SPORT

GDB インプレッサ



SAスポーツのGDBインプレッサは、HKSとのコラボレートで安心できるブーストアップを目指した「BB TUNE」テストカー。吸気系ではエアクリーナークションパイプ、排気系ではタービンアウトレット／フロントパイプ／触媒などが「BB TUNE」仕様となっている

なにわ的チューンドマシンが勢揃い!!

スーパー・オートバックス京都伏見

ER34 スカイライン



SA京都伏見から出展されていたのは'05年仕様のD1参戦マシン。ベースがR34とは思えないほどのGT-R度も強烈なインパクト。インクラヤラジエーターが後ろにオフセットされているのもクラッシュダメージを低減させる実戦から生まれたアイディア。お台場から投入される予定